平成26年度 生活指導部 3学期分掌マネジメント

学校教育目標 生活のリズム(望ましい睡眠・食事のあり方、メディアとのつきあい方)、生活習慣(身だしなみ、清潔感、整理整頓)を定着させ、自主・自立の精神を養い、共生の精神を尊重する人間関係づくりを構築し、学力向上をめざす。 (1) 生活リズムや生活習慣を身につけさせ、学習規律や学習態度の確立、学習習慣を定着させることによって、基礎学力の向上をめざす。 重点努力事項 (2) 人間関係を育む学級経営、学習指導、学校行事、生徒会行事、部活動を通して、「学校が楽しくて満足している」と実感できる、共に生きる集団づくりをめざす。 (3) 生徒一人ひとりが、価値ある存在として実感することができ、自分の生き方に希望や誇りをもって、「社会とどう向き合い、社会とどう関わっていくか」を形成し、自己実現を図っていくことができる学校づくりをめざす。 分掌重点目標 規則正しい生活習慣を定着させるとともに、ルール・マナー・モラルの向上と地域へに貢献する意欲を高める。 分掌目 分掌がめざす 2学期 成果と課題 活動へ向けての努力事項 Do 3学期への提言 成果と課題 来年度への提言 標 主な活動 Do 到達目標 評価基準(Check) Action Do & Check Action 生徒の姿 Do & Check Plan 2月 3月 ○生活振り返りアンケート ・睡眠時間 · 冬休み終了後の服装·頭髪指 ・第三回生活振り返りアンケー ・生活振り返りアンケート分析 「1日の睡眠時間」7~8時間 46.4% トの実施と集計分析 自明ル自人 後の生徒へ 「就寝時刻」 〇時以降が20% 牛活指導 • 就寝時刻 他るし分に ・保護者への啓発活動 33.3% ·学年末休前指導 「起床時刻」6時半頃までが6 をいルを喜 000 O%IJ F. · 起床時刻 価挨を大ば 達ル規 〇食生活調査 ・朝食 値拶守切れ成り則 「朝食で主食・主菜・副 26.6% あ`りに 感ル正 菜がそろっている」 ・苦手 28%以上 る節・し人 · · し 食育指導 55.1% 「普段から苦手なもので 存度マ、に 役マい も頑張って食べている」 保護者質 在あナ他役 立ナ生 50%以上 問紙86% とる「人立 ちー活 ○生活振り返りアン `漝 しきををつ 感 朝食をとる95% 歯みがきの指導 睡眠時間29.9% つ生活振り返りアンケート てび身大自 をモ慣 ○基本的生活習慣が 睡眠時間7時間以上 夜の歯磨き ・手洗い・うがいの徹底指導 「朝食をとる」が90%以上 身につき、朝食を食べ が75%以上 1年54.4% 実きに切分 得ラと 健康安全指導 2年73.6% ない生徒や就寝時刻 朝食をとるが96%以 刻を23時までにする) 75%以 感びつにが らル規 3年73.7% の遅い生徒をさらに減 重眠時間が少ない。 ししけす好 れの律 ・精雪時の安全指導 _ ○夜の歯みがき3分以上60% ・「保健便り」による啓発活動 少させる。 ○夜の歯みがきが3分 歯磨きのマンネリ た・るき る確を ·町内保小中夜の歯みがき週間の実 以上が65%以上 積雪時の安全指導 共行モ自な 活立定 教育相談 ◇生活振り返りアン ○全校教育相談ア に動ラ分生 動を着 ○対象生徒の実態·課 ケート「自分が困ってい ンケート「不安な アンケート 生がルが徒 新年度に向けた、個々の生徒毎閲を共通理解し、その をめさ る時に声をかけても 不適応対策 ・冬休み明けの生徒の実態把握 こと、困っている 68% 不適応対策委員会による検討、 増ざせ の実態整理と引き継ぎ準備(新 課題等に応じた対応を らったり助けてもらった きとの好 教育相談活動 と早期対応 共通理解 こと、心配なこ 教職員質 入生についても含む) チームで行うことができ りしたか」肯定的回答9 るれあき やする と」を挙げること 問紙96% 0%以上 仲るるな す . 93% 間自自生 ○教職員質問紙 「一人ひとりの生 話し合った と分分徒 徒に対し綿密な特 特別支援教育 支援方法が しがが 別支援教育が実施 担任、学年 て好好 されている」肯定 で終わり 活きき ◇生徒質問紙『私 動なな 大切にさ は先生や友だちか で生生 れている8 道徳教育 ら大切にされてい き徒徒 1% る』の項目で、肯 る ・望ましい 定的意見90%以上 生 人間関係 (昨年92%) 徒 88% ◇生活振り返りア 人権教育 ンケート『学校生 活の中で、生徒同 ◇生徒質問紙 84% 「私は節水節電な 細かい所を ど環境を改善する 見て掃除を 意識を持って行動 環境美化 する意識は している」の肯定的一高くなっ

評価かが84%以

上(昨年82%)

た。